

平成 30 年 9 月 6 日

平成 31 年度名古屋大学大学院情報学研究科情報システム学専攻博士前期課程
入学試験（平成 30 年 8 月 8 日実施）における出題ミスについて

8 月 8 日（水）に実施した大学院情報学研究科情報システム学専攻博士前期課程入学試験において、筆記試験「専門科目（ソフトウェア）」の試験問題に下記のとおり、出題ミスがありました。本研究科で検討した結果、当該問題の取り扱いについて以下のとおりとしましたので、お知らせします。

なお、今回の措置は合否の判定に影響がなかったことを確認しております。今後はこのようなことがないように十分注意いたします。ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 該当科目 専門科目（ソフトウェア）

2. ミスの内容

当該科目の大問[1]「図 2. G に対する LR(1)オートマトン」の 2 カ所(状態 I_0 および状態 I_4)に含まれる不要な項目の記載により、次のような問題が発生した。

- ① 大問[1]の小問(4)では、図 2 において 7 カ所の穴埋めを求めている。図 2 の 1 カ所(状態 I_0)に含まれる不要な項目の記載により、(a)において出題者が意図した解答とは異なる、もう一つの解答が導き出されることが判明した。
- ② 大問[1]の小問(5)では、「・・・構文解析可能であることを説明せよ。」と解答を求めているが、図 2 の 2 カ所(状態 I_0 および状態 I_4)に含まれる不要な項目の記載により設問が成り立たず、解答できないことが判明した。

3. 当該ミスへの対応

- ① 大問[1]の小問(4)では、出題者が当初意図した解答及び不要な記載によって導かれるもう一つの解答の両方を正解とする。
- ② 大問[1]の小問(5)には解答できないことから、全ての受験者について当該設問を正解とする。

以上

この件に関する問い合わせ先
名古屋大学大学院情報学研究科
教務学生係 TEL:052-789-4823